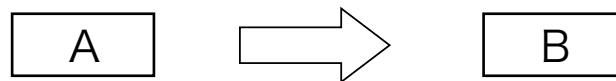


# 日本語文法 2

## 理由節・目的節

理由節

# 理由節



から  
ので  
ために  
おかげで  
せいで

主節

Aの内容がBの内容の原因・理由であることを表わす

から

# 「から」の接続

読む	読むから	立派な	立派だから
	読みますから		立派ですから
赤い	赤いから	学生	学生だから
	赤いですから		学生ですから

動詞の丁寧形で『\*読むですから』のようにしないこと  
い形容詞で『\*赤いだから』のようにしないこと  
『普通形+から』／『丁寧形+から』となる

# 「から」の用法

- \* 主節の内容に対する原因・理由を表わす
- \* トマトが好きだから、いつもたくさん食べます。
- \* 主節には意志表現をとることができる
- \* おいしいから、また来よう。 [意志]
- \* もう遅いから、早く帰ろう。 [勧誘]
- \* あぶないから、やめなさい。 [禁止]
- \* 安物だから、もらってくれ。 [依頼]

# 「から」が表わす理由

\* 「から」が表わす理由→直接的なもの／間接的なもの

\* 直接的な理由（主節の原因となる事柄を示す）

\* 雨が降っていましたから、傘をさしました。

\* 間接的な理由（主節の根拠となる事柄を示す）

\* 冷蔵庫の中に牛乳があるから、飲みなさい。

\* 団子を持ってきましたから、食べましょう。

# 文末での用法

\* 「…からだ／です」の形で強調や応答を表わす

\* 遅刻したのは、バスが来なかつたからです。

\* 「…から。」で相手に働きかける意味を表わす

\* じゃあ、あとで連絡しますから。 [注意を促す]

\* 遠慮しないで。高いものじゃないから。 [補足]

\* 相手に注意を促したり、理由を補足したりする

# 自分の事情や都合

- \* 目上に自分の事情や都合を言うときに使うと失礼
  - \* × 用事がありますから、休ませてください。
  - \* ◎用事があるので、休ませてください。
  - \* × お腹が痛いですから、休んでいいですか。
  - \* ◎お腹が痛いので、休んでいいですか。
  - \* ◎お腹が痛いんですが、休んでいいですか。
  - \* 許可を求める場合→「が」の前置きが自然
    - \* 「から」と「ので」の違いは後述する

ので

# 「ので」の接続

読む	読むので	立派な	立派なので
	読みますので		立派ですので
赤い	赤いので	学生	学生なので
	赤いですので		学生ですので

『普通形+ので』／『丁寧形+ので』となる  
談話体では『読むんで／読みますんで』のようになる

# 「ので」の用法

- \* 主節の内容に対する原因・理由を表わす
- \* トマトが好きなので、いつもたくさん食べます。
- \* 主節には意志表現をとることができる
  - \* おいしいので、また来よう。 [意志]
  - \* もう遅いので、早く帰ろう。 [勧誘]
  - \* 安物なので、もらってくれ。 [依頼]
  - \* ?あぶないので、やめなさい。 [禁止]
- ➔禁止や命令では不自然になることがある

# 文末での用法

- \* 「…ので。」で相手に働きかける意味を表わす
- \* じゃあ、あとで連絡しますので。 [注意を促す]
- \* 遠慮しないで。高いものじゃないので。 [補足]
- \* 相手に注意を促したり、理由を補足したりする
- \* 「…から。」より丁寧な語感 (使用範囲は狭い)
- \* 「から」と異なり「\*…のでだ。」の用法はない

## 「から」と「ので」

- \* 「から」
  - \* 前件と後件に当然の関係があると主張 (感情的)
  - \* 聞き手に対する働きかけがある (外部志向)
  - \* 「ので」よりも丁寧ではない (書きことば不可)
- \* 「ので」
  - \* 前件と後件に関係がある事実を記述 (理性的)
  - \* 聴き手に対する働きかけがない (内部志向)
  - \* 「から」よりも丁寧である (書きことば使用可)

## 感情的／理性的

- \* 「から」：感情的／「ので」：理性的
    - \* ◎バカだと言ったから、殴ったんだ。
    - \* ?バカだと言ったので、殴ったんだ。
      - \* 「から」→当然の判断だと訴える意味がある
    - \* ?電車が遅れたから、遅刻してしまいました。
    - \* ◎電車が遅れたので、遅刻してしまいました。
      - \* 「ので」→自分の判断を事実として述べている

## 働きかけの有無①

- \* 「から」：働きかけあり／「ので」：働きかけなし
  - \* ◎じゃまだから、あっちへ行け！
  - \* ?じゃまなので、あっちへ行け！
  - \* ◎うるさいから、おしゃべりをするな！
  - \* ?うるさいので、おしゃべりをするな！
  - \* 「ので」→聞き手への働きかけなし（弱い）  
→命令や禁止などの表現には使いにくい

## 働きかけの有無②

- \* 「から」：働きかけあり／「ので」：働きかけなし
  - \* ? 食事を用意していますから、こちらへどうぞ。
  - \* ◎食事を用意していますので、こちらへどうぞ。
  - \* 「から」を使うと押しつけがましく感じられる
  - \* ? 人が来ると聞いていたから、掃除しました。
  - \* ◎人が来ると聞いていたので、掃除しました。
  - \* 「から」では報酬を要求するように感じられる

# 「から」と「ので」の丁寧さ

- \* 「から」：丁寧でない／「ので」：丁寧である
  - \* ?足下がすべるから、注意してください。
  - \* ◎足下がすべるので、注意してください。
  - \* 「ますので／ですでの」はさらに丁寧である
  - \* ?用意いたしますから、お待ちください。
  - \* ◎用意いたしますので、お待ちください。

ために

## 「ために」の用法

### \* 原因・理由を表わす

- \* 冷水浴をしたために、カゼをひいてしまった。
  - \* ボスがいるために、組織の求心力が失われる。
  - \* 大きな問題があつたために、製品を回収した。
  - \* 動作動詞→タ形／状態動詞→ル形・タ形が多い

\* 目的を表わす

- \* 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
    - \* 動作動詞→ル形が多い

## 「ために」と「ため」

- \* 「ために」は「ため」としても同じ意味になる
  - \* 冷水浴をしたために、カゼをひいてしまった。
  - \* 冷水浴をしたため、カゼをひいてしまった。
  - \* ボスがいるために、組織の求心力が失われる。
  - \* ボスがいるため、組織の求心力が失われる。
  - \* 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
  - \* 冷水浴をするため、シャワーの用意をする。

## 理由が重複する場合

- \* 1つの文の中に複数の理由を述べる場合
    - 「ので」「から」は重複して使うことができない
    - \* × 仕事があるので、忙しいので行けません。
    - \* × 仕事があるから、忙しいから行けません。
  - \* 『(左)て→ために→ので→から(右)』の順で使う
    - \* 仕事があって、忙しいために行けません。
    - \* 仕事があるので、忙しいから行けません。
    - \* 仕事があるために、忙しいので行けません。

# おかげで／せいで

## 「おかげで」の用法

- \* 原因・理由を話し手の主観的評価を伴って示す
  - \* 評価はプラス評価が多いがマイナスの場合もある
    - \* 先生のおかげで、日本語が上手になった。 [+]
    - \* 先生のおかげで、文法が再履修になった。 [-]
  - \* 主節には利益／不利益を表わす表現が使われる
    - \* ??先生のおかげで、留学することにした。
    - \* ◎先生のおかげで、留学することができた。

# 「せいで」の用法

- \* 原因・理由を話し手の主観的評価を伴って示す
- \* 評価はマイナス評価となる
  - \* ×先生のせいで、日本語が上手になった。 [+]
  - \* ◎先生のせいで、文法が再履修になった。 [-]
- \* 主節には不利益を表わす表現が使われる
  - \* ◎先生のせいで、留年することになった。
  - \* 後悔や不満の意味を表わす場合が多い

# 目的節

## 目的節

ために  
ように  
には

Aの内容がBの行為や動作の目的であることを表わす

ために

## 「ために」の用法

\* 目的を表わす

- \* 専門知識を学ぶために、大学に通っています。
  - \* 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
    - \* 動作動詞→ル形が多い

#### \* 原因・理由を表わす

- \* 冷水浴をしたために、カゼをひいてしまった。
  - \* 動作動詞→タ形／状態動詞→ル形・タ形が多い

# 「ために」と「ため」

- \* 「ために」は「ため」としても同じ意味になる
  - \* 専門知識を学ぶために、大学に通っている。
    - \* 専門知識を学ぶため、大学に通っている。
  - \* 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
    - \* 冷水浴をするため、シャワーの用意をする。

ように

## 「ように」の用法

#### \* 目的を表わす

- \* 背が高くなるように、毎日牛乳を飲んでいる。
  - \* すぐ出かけられるように、準備をしている。
  - \* カゼをひかないように、暖かくして寝る。
    - \* 目的節では可能形や否定形がよく使われる
  - \* 学生が勉強するように、(先生が)教材を工夫する。
    - \* 目的節と主節とで主語が異なる場合も多い

# 「ように」と「ために」

- \* ために→積極的に志向／主に意志動詞
- \* ように→消極的に志向／主に無意志動詞・可能形
- \* ◎偉い人になるために勉強します。 [意志動詞]
- \* ??偉い人になるように勉強します。 [意志動詞]
- \* ◎偉い人になれるように勉強します。 [可能形]
- \* ×花がよく育つために水をやる。 [無意志動詞]
- \* ◎花がよく育つように水をやる。 [無意志動詞]

には

# 「には」の用法

## \* 目的を主題として提示する

- \* 2級に合格するには、初級での学習が重要である。
- \* 景気を回復するには、財政出動が必要であろう。
- \* 主節は目的についての判断を表わす内容となる
- \* 楽しい冬休みを過ごすには、まずは文法のテストに合格しておく必要があるのでないだろうか。
- \* 主節の部分が、かなり長い文になることもある

おわり